

余名の尊い命が奪われました。一人一人に親があり子があり、家族があつたのです。

私たちは、この事実を記憶の中にきちつと受け止め、語り部として後世に伝えることが今、求められています。

来年の総会参加者は、この東日本大震災の実情を体感し、改めて地震そして津波、さらには原発放射能被害について、考えざるを得ない貴重な機会になることと思います。

また、いわきの人たちが「がんばっぺ、いわき」

のスローガンのもと、震災にめげず、明るく懸命に生きる姿を見ていただければ、歓迎しますいわきの会員たちにも、大きな喜びと自信を感じることとなりましょう。

県内各地域の仲間の皆さん。いわきへ、にぎにぎしくご来地くださいますよう、心よりお待ち申し上げております。

初めてのウォーキング

西白河地区 金田 健

近年は友人に誘われて里山登山を楽しみにしている。本年春先にマラソンの四十二キロメートルの距離を歩いてみたいと言う友人に賛同し、旧農村地



帯の旧道を歩くことになる。

四月二十日 白河地方の桜も開花した頃、旧東村のきつねうち温泉駐車場に車を止め、十時に出発する。若栗、畑中地区を通過し、旧表郷村の河東田に出る。以前はバスが通っていた社川方面への道路に出で、深渡戸方面へと進む。若栗、畑中地区は三十年前頃に釜子小学校勤務。河東田、深渡戸地区は五十年前に河東田分校に二年間勤務し複式学級担任をした。それぞれ思い出が浮かぶ。

深渡戸地区を抜けた小高い道端で昼食。

浅川町方面が遠くにやや見える畑地帯で小野田方面へ行く山道を訪ねた方に、地区のお寺の案内を受ける。お寺は小貫の貫秀寺といい、地方の名刹、県内に無い即身仏が安置されている。参拝し拝観させていただく。また、浅川城跡の梅も見頃なので案内される。満開で見事な梅花。

元の道に戻り、小野田方面へと歩き、ゴルフ場を過ぎて小野田反町のお寺へ。鶴が飛んでいる姿に開花すると言われる樹齢四百年の枝垂れ桜で、一面満開で本当に見事な桜花。

一休み後、出発地のきつねうち温泉へと歩き、温泉に入る。歩いた距離三十、五キロメートル、約五時間。

天候に恵まれ、例年にない見事な梅花・桜花を見ることができ、上々のウォーキング日和となる。



老人会の課題と私たち

西白河地区 伊藤 榮一

現在の老人会の最大の課題は、会員の減少傾向に歯止めがかからないということだ。そしてこれは恐らく全国的な問題であると思う。

今、中高年の年齢層が年毎に厚みを増していくのに、老人会に加入する人は反対に減っていくというのは一寸考えても不自然である。

なぜなのか。それにはいろいろ理由がある筈だ。

ある人は、魅力がなく、明るいイメージが感じられない。またある人は、何をやっているのかわからない。社会への働きかけ、或いは貢献度がわからない、などなど。そこで私が所属している単位クラブでは、一人ひとりが活躍できる場を持つように、ヨガクラブ、編み物クラブ、輪投げクラブ等十クラブを設けている。

また、地域との交流の場を持つように、地域内にある東屋の花壇作り、友愛訪問を兼ねた声かけ、食事交流会などを計画的に持つようにしている。

今、私たちの市の連合会では、年に純二名増を目指して運動中であるが、施設に入ったり、亡くなったりと、二名とはいえ、なかなか難しい。

しかし、これからは認知症予防の上からも高齢者同士の相互協力の必要性からも、ネットワークをますます密にしていかなければと考え、二名増などではなく五名増を目標に努力していきたい。

# 群馬県

人間による、価値的形成について 会長 原口 市

人は皆歴史的世界の中に生み出され、そこに育ち、そこで働き、やがてまたそこに帰っていく。この歴史的世界こそ実に、人間形成の根源的場であり、人間はそこにおいて、それぞれの環境との間に無限の相互作用を行っている。その相互作用こそ日々の生活であり経験である。相互作用を通じ環境も形成され歴史的世界全体も形成されている。

ならば、この自然的な学習をそのままに放置しておかないで、その不純なものは純化し、ばらばらなものや行き当たりばったりの学習は体系化し複雑なものは、発達段階において単純化し、かたよつたものは均等化して、一言に自然的学習を、文化的学習に転化していくことと思おう。

川柳を詠んでみましょう

高崎支部 青柳 朝治



本年度の研修は高崎支部が担当することになった。会員が高齢化している時でもありますので川柳をとりあげ脳の活性化に役立てられたらと考えました。

会議のあと、短時間でしたが川柳を詠む上で気を

つけることなど新聞などにのつていた句を読んでいただき、そのあと参加者に自由題で一句詠んでいただいた。句が詠めたところで、それを掲示し、参加者にその中から気に入った二首を選んでいただくということでは会をすすめた。

さて、川柳の詠み方の注意点についてはご存じの方も多と思いますが次にあげます。

「六十歳からの新しい川柳」

秋田昌善著から

川柳の要素として

(一) 穿ち 事や人情の核心に巧みにふれる事

(二) 軽み 軽やかで気がきいていること

(三) 笑い うれしさ、おかしさ、てれくささ、ばかにしたきもち、究極の悲しみ

があげられています。

川柳は、ご存知のように、五七五の音のリズムで作ればよいと言われています。

中七が大事です。俳句のように季語は考えなくてもよいのです。

日常のくらしの中で見たこと、思ったことを詠めばよいのです。大事なことは、句の中に詠んだ人の心が感じられるようなものであることです。脳の活性化をはかるためにも詠んでみてください。

思ったら声に出して書きとめることが大事です。後で書こうというのがいちばん駄目です。即実行です。

次に当日の会員が詠んだ句を上げておきます。

ごみ出しのルールを笑う猫の群

A 生

尖閣で領土見直す日本人 K S

遠来の友の助言がありがたい K K

税上がり年金下がり音をあげる M 生

往く元気帰りフラフラ老人会 K K

鏡見て自分の年齢知らされる U T

朝登校ピカピカ光る黄色旗 T K

高知よりバイクで帰る孫の夏 S M

老妻の肩もみとれは誰の責 C F

市役所も年金へらす通知だけ K A

けいきよくねん金へらす財務省 K A

涙する心はらしきうわの空 雨生

ネジれなしコピー参院意義うすれ 薄生

さて、会員の皆さん一句詠んでみませんか。

## 秋田県

思いのまま

会長 吉田 静夫



今冬は平成十八年の豪雪以来の積雪、秋田市当局では除排雪費が高み財政難で四苦八苦とのこと巳年の明けは雪に悩まされたスタートでした。春の到来を待ちわびている今日この頃です。

さて、本会が昭和六十三年に結成されてから二十五年経ちました。「会員相互の親睦と生活向上、福利厚生者の増進」「研修と教育の振興に寄与すること」を目的としこれまで本会の発展に尽力されてこ

れた先輩諸氏に心から敬意を表します。

そこで過去五年毎に催行してきた記念行事を来たる六月六・七日二日間、二十五周年として実施することになり、実行委員会を組織しその準備にとりかかりました。会員皆様の温かいご支援、ご協力をよろしく願います。

急激に変化しつつある環境に目を向けると経済不況、政治の混乱、日米中韓との外交、原発事故の処理問題等が山積しており、せわしく不安定な時代に私たちは生きています。本会会員の高齢化や新人会員の皆無もあり、組織の拡大は困難とみており、現状維持が重要になります。

会員皆様がお互いに余生を健康で明るく元気に過ごしたいですね。会員の中には趣味や地域のボランティア活動に生きがいを感じておられる方もいます。「生きる」ということは多くの支えあう人たちとの関わりです。

秋田市では地区別の名簿を頼りに『葉書・電話』等で近況を報告し合うことを始めました。元教頭職仲間同士の「絆」を大切にしようと親睦会を年一回開いています。また、市内の小中学校を交互に学校訪問を実施しています。

先日の合同理事会では本会の有様について話題になりました。それは総会・交流研修会は従来のようにブロック別持ちまわり開催は、地元会員の負担など諸般の事情で難しくなってきたのでは無いでしょうか。開催地の固定化、日程、会の運営等を見直す時期？ということですが。私は「身の丈」で出来ることから始めたいと思います。

## 回想

大館市 富樫 僕

年号が大正から昭和に変わった年に生まれ、定年退職したのが昭和最後の六十三年、何の因果か知れません。四十五年勤務させてもらった中で教頭が二十三年での退職でした。



私の教頭勤務は、他の方とは違い、教頭本来の仕事のできない、事務職に軸足を置いた半端な心苦しい立場でした。

その第一条件は、赴任校五校とも最後まで事務職員配置のない学校なものですから財務から旅費計算等に没頭せざるを得なかったものでした。最後の二年間は事務職員がいる学校に転勤させてほしいと初めて転任希望を出したが無視されてしまいました。

退職と同時に、同期で一年先に退職された小笠原秀英氏に誘われるまま、即入会となりました。会議のたびに初代会長の船木先生の情熱溢れるあいさつには感服したものでした。何年かして会計監査を命じられるままにさせてもらいましたが、ろくに役に立たなかったことでしょう。

定年退職した年から、町の教育委員二期（八年）や保護司十四年勤めさせてもらいました。とりわけ、後半の七年間は、「指定交通保護司」の命を受け、未成年交通違反者（無免許あり、三十キロ以上のスピード違反あり、再犯あり）の保護厚生のため毎月家庭裁判所に赴き、親子に講習をやりました。大館家裁管内で七年間で二百五十名の違反者を二

人で折半して担当したもので、私の直接担当が百二十四名でしたが、全員期間内に解除してもらえたことには満足しております。

更に社会福祉協議会の要請を受け、週一回の福祉弁当の配食と町のボランティア連絡協議会の役員を現在まで二十年間続けさせてもらっているところです。

県の退職教頭会にとっては、高齢組が欠けていく反面、新入会員も思うに任せず、運営が困難になりつつあると思うのみで、年とともに気力、体力の低下は如何ともできず、会費納入だけの会員となってしまったことをお許し願います。

鉱業博物館へどうぞ 顧問 佐藤 健一

鉱業博物館のサイエンスボランティアとして係わって十七年、今回会員の皆様が来館される由、大いに歓迎いたします。

鉱物や岩石には興味なし、ほかの博物館や美術館と違って、どうも？と思われる方もおると思いますが、来館された方は喜んでお帰りになります。幼稚園から老人クラブまで来館されま



す。一昨年リニューアルして、名実ともにこの種の博物館としては日本トップクラスになりました。

この三月、講堂に新式の最高の視聴覚器具、プロジェクター（スライドを映す器具）レコーダー、音響器具などを更新、何かの会合等に利用できるようになっていきます。

また、毎年特別展を開催していますが、今回は四月から五月まで新秋田県立美術館の一階で鉱物、岩石の展示をし、私も何回か解説のお手伝いをさせていただきます。

鉱業博物館では児童生徒の入館を大いに期待しています。館内の鉱物、岩石を当てるクイズを出したりして関心を持つよう努力しています。幼稚園、小学校の低学年でも結構楽しく学習できます。ただ小中学校での総合学習の時間が減らされたため、団体入場が減るのではないかと心配しています。それにもかかわらず毎年来館される学校もあります。また二月韓国の高校生も来館されました。楽しいひと時でした。国が違っても心は通じるものです。通訳さんもいい方でした。

来年度から秋大に国際資源学科が増設されます。それに伴って鉱業博物館の存在意義はますます重大です。

きれいな石、不思議な石、珍しい化石、地球の歴史など、楽しく学べる鉱業博物館に是非お出で下さい。

ひとり二言

鹿角市 赤坂 文男

私の一月は地域の小学生の登校指導から始まる。地域の方々に挨拶をし機嫌を伺う楽しみもある。米代川に沿って飛ぶ小鳥、時に白鳥の姿を見る事もできる。今年度は互助会鹿角支部から傘寿のご案内を頂き驚いている。

年々修学旅行でストーンサークルを訪れてくれる関東地区の中学生にガイドをするのも生きがいの一つである。古代に学び夢を膨らませてくれる事を願いながら。

秋田市 西村 廣恵

今年の冬は、毎朝の除雪が日課です。小学生が朝夕通る自宅周辺の歩道をスノーダンプで道をつけ、側溝に雪を投げ入れます。

適度の運動量があり、体調はすこぶる快調です。退職教頭会で皆さんと、久しぶりの学校訪問をしたり、教育問題を話し合い、教育について考えることができるのはありがたいことです。三月出品の彫刻作品に取り組んでいます。

## 東京都中

あいさつ

会長 相原 一矢

海や山の恋しい季節となりました。皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか、健康には充分注意してお過ごしてください。

さて、今年度の総会も去る六月二十一日(土)に盛大に開催され事案は全て承認されました。その総会で長年会長をされていただきました荻野先生の後を受けて、会長に推薦されました、相原一矢と申し上げます。よろしくご協力の程お願い申し上げます。副会長も西川先生、松島先生、事務局に福岡先生を推薦し、本年度より新しいメンバーでスタートすることにになりました。

本年の新入会員は十三名との紹介がありました。が、新入会員・会員の皆様が本会の諸行事に多数参加されることを願っております。会報に記載してあります。総会には十三名の先生方が参加してくだ

さいました。また、多くの先生から、お便りを頂きました。大変うれしく思います。

それらを読みますと、まだまだ自分も頑張ろう。知っている方のお名前を見ると懐かしく、色々なことが思い出されました。無理しないで、生きる喜びの幸せを感じる日々が、送らればと思っております。昨年度、年間行事の一つ、旅行が伊藤先生の死去に伴い、計画を中止してしまいました。忘年会や、観桜会は、実施致しました。今年度も計画し、ご案内いたしますので、奮ってご参加下さることを願っております。役員一同頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

## 熊本県

楽しい存在価値ある県退職教頭会を目指して

熊本県退職教頭会 会長 徳永 信雄

今年も師走に入り、残り少なくなってきました。会員の皆様方もお元気で色々な面にご活躍のことだと拝察いたします。いつも会員の皆様方には大変お世話になっております。

近年は地球温暖化の影響かもしれません、色々な災害が大変多いように思います。今年も幸いにも熊本には台風や豪雨等の被害はありませんでしたが、全国の各地で台風や大洪水の被害が出ました。被害に遭われた方々に心からお見舞いの言葉を申し上げます。

国政面では安倍政権になり、約一年が過ぎましたが、円高が円安になり、景気も大分回復してきているように、日本も大分元気が出てきているような感じがします。